



北陽同窓

会報・第21号

1998年9月10日

発行 北陽高等学校同窓会

編集 同窓会広報委員会

印刷 中央出版印刷株式会社



もくじ

三木同窓会長ご挨拶	2	母校クラブニュース	8~9
母校の現況・林校長	2	同窓の近況	10~12
第21回代議員総会	3	ゴルフコンペのご案内	13
平成9年度決算報告	4	平成10年度北陽高校同窓理事・監事名簿	14
「北陽同窓」東京支部	5~6	募金ご協力のお礼・編集後記	15
平成10年母校進路状況	7	協賛広告	16~20

財政再建と 今後の運営方針

会長 三木 憲三



母校の現況

校長 林 敏夫



この度、会報21号「北陽同窓」の発刊に当たり、同窓会の財政再建と今後の活動方針の骨子を申し述べ、皆様方の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。私は平成6年会長就任以来、2期4年目を迎えますが、その間私が信条として押進めてまいりました「全卒業生を対象とした同窓会活動の推進」も、皆様方のご理解、ご協力のお陰ではほぼ実現化してまいりました。平成7年11月に開催いたしました母校創立70周年記念総会を手始めに、昨年9月には第2回総会を新阪急ホテルで開催いたしました。又、毎回100名を越す参加のゴルフ会、日帰りバスツアー等、楽しい同窓の懇親行事も継続して開催してまいりました。

この様な同窓会の活動状況や母校の現況等に就きましては現在、会報「北陽同窓」に詳細に記載して皆様方にお知らせしておりますが、現状この会報のみが同窓会と皆様を結ぶ唯一の懸け橋となっているのであります。この様な貴重な役割を果たす会報でありますので、私はこの会報を通じてより早く、より的確に同窓会の活動状況を知りたいといため、平成8年度より会報年2回の発刊に踏み切ったのであります。その結果、評価は大変好評で17, 18, 19, 20号と号を追う毎に皆様方からの協力金は増加してまいりましたが、反面この協力金の増加だけでは残念ながら会報年2回の発刊に必要な郵送料及び製作費を補うことができず、同窓会の財政は2年連続して赤字運営となりました。同窓会の財源は皆様方もご承知の通り、毎年母校を卒業する生徒が払う同窓会費と、同窓の皆様方から頂戴する協力金で運営いたしておりますが、最近我が国の人口は少子化現象が進み、青少年の人口が著しく減少しているという誠に憂うべき事態に立ち至っています。この事は母校にも影響している事は言う迄もありません。生徒数も年々減少傾向にありますし、現に今年度の卒業生は前年に比べ75%と減少しています。この様な現象形態は今後も続くものと予測されます。この様な現状を併せ考えますと、仮に従来通り年2回の会報の発刊を続けますと近い将来必ず同窓会の財政は破綻いたします。破綻させないためには、協力金の増加も然る事ながら年2回の会報発刊をこの辺で年1回の発刊に戻し、1回分の郵送料を削減することが最善策であると結論づけましたので今年度より実行いたします。

尚、本件に関しましては去る4月18日の代議員総会でも提案審議され、全員賛成で承認されましたこと付記いたします。年1回の発刊になりますが、内容の充実した会報といたす所存にありますので何卒ご容認下さいます様お願いいたします。

さて、今後の同窓会の活動に就いてでありますが、私の4年間の経緯を踏まえて、今後の同窓会の活動の節目を5年とし、5年毎に母校の周年行事に併せて記念事業を展開して行きたいと思います。その理由は先に開催いたしました「母校創立70周年記念大会」は1995年でありましたので、これを基点に考えますと母校創立75周年は2000年という21世紀に突入する、誠に意義深い節目の年であります。更に創立80周年は2005年というように、5年区切りの年号と母校の周年記念とが完全に合致いたします。従って私達の同窓会もこの年号に併せ、5年毎を目標に母校の創立記念を祝う事業を展開して行きたいと存じるのであります。当然、中間年次には総会を開催し同窓会活動の報告に併せ記念事業に対する計画を審議していただく予定であります。

尚、既に同窓会は総務委員会を中心に母校創立75周年に向かって同窓会名簿の作成に着手しました。

以上、財政再建策と今後の方針を申し上げましたが、何卒同窓会の実状をご理解いただきまして、ますますのご支援、ご協力を賜ります様お願い申しあげます。

同窓の皆様にはお変わりなくご健勝のことと存じます。平素は母校のため何かとご高配にあずかり深く感謝いたしております。

皆様の母校北陽は今年で創立以来73年になります。また、現在の校舎に移ってからでも、早いものでもう19年経ちました。この間世の中は激動し、教育の世界でも多くの変化が見られます。特に最近の少年たちの心の荒廃や不可解な行動には誰もが深い憂慮を感じ得ないところですが、この非常事態の中にあって私がいつも思い起こすのは北陽の建学の精神です。社会の中堅として役立つ人間をつくる。それは知・徳・体の調和した人間である。73年前の糸島先生のこの思いは、今でも北陽の教育の原点でなければならぬと痛感します。困難な時勢であればある程、私たちは一層この線で北陽の教育を推進して行こうと決意し、実践をしているところです。

この地道な努力が認められたのか、今年も募集定員を上まわる生徒が入学してきました。昨年も申しあげましたが、今大阪の私立高校の多くは二重苦に喘いでいます。1. 府下の中学卒業生が毎年2,000人～3,000人規模で減少して行き、7年先には最多時(昭和62年)の半分以下になる。2. 不況の影響で、授業料の安い公立への志向が強くなっている。このような逆境の中で、今年だけは中卒者が昨年より1,680名ふえたのですが、それでも、府下私立高校94校中40校が入学定員割れを起こしました。幸い本校では462名の募集定員に対し2,928名が受験、その中から576名が入学、従って今年度の生徒総数は1,477名となり、前年比14名減に止まっています。

現在国では教育改革の論議が進み、2002年から完全週5日制が予定されています。これに対応して、本校でも2年にわたる討議の結果、新しい教科課程を来年度から実施することにしました。これは生徒の個性と能力を伸ばすことを基本におき、更に面倒見のよい教育を推進して行こうというもので、土曜日の有効利用と選択授業の大幅導入が眼目です。

今春卒業した生徒562名の進路は大学290名(51.6%)、専修学校90名(16%)、就職102名(18.1%)、浪人等(予備校等)80名(14.2%)で、大学進学が遂に5割を越えました。中でも国立大4名をはじめ、中央大など難関の私立大への進学も目立ちます。過年度卒業の浪人たちも健闘し、同志社大4名・関西大4名・立命館3名を筆頭に73名が進学を果たしています。

クラブ活動はますます活発で、運動部503名、文化部112名、計615名(全生徒の42%)がクラブに所属、中でもサッカー部115名、硬式野球部95名が群を抜いています。昨年はサッカー部が総体に出場した上、天皇杯大阪予選では高校代表として大学代表の商大に勝つという偉業をなし遂げました。また軟式野球部が夏の全国選手権に出場、秋のなにわ国体にも出場して第3位入賞、その他水泳、ハンドボール、陸上競技の各部も高校総体に出場、他の部も負けじと毎日の練習に励んでおりますので、今後とも一層のご声援をお願いいたします。

最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげます。

◇ 第21回代議員総会開催 ◇

財政再建！ ー会報年1回の発刊承認ー

第21回代議員総会が、4月18日(土)午後2時から、母校会議室で代議員60名の出席で開催された。相次ぐ景気低迷を反映してか働き盛りの40年以降卒業の同窓生の出席が例年より少なく、いささか淋しさを感じえなかった。

代議員総会は、先ず依藤事務局長の開会宣言で始まり、物故者に黙禱、全員で校歌を齊唱した。続いて三木会長が挨拶し、会報は同窓会と皆様方を結ぶ唯一の媒体で貴重な役割を果たしているが年2回の発刊は郵送料が嵩み財政赤字と成っている。年1回の発刊で容認頂き度い。又、今後の同窓会活動の節目は5年とする。その理由は、5年区切りの年号と母校の創立周年記念年とが完全に合致している。母校の70周年記念は1995年に開催されたが、75周年は意義深い今世紀最終年の2000年となる。従って今後は5年周期で記念事業を行うことになるので承認と理解ある協力を要請される。

引続いて、林校長先生がご挨拶され、学校関係の現況、特に最近の我国の少子化現象に触れられ母校の現状と対応について話された。

議案審議に入る前に、長年同窓会活動に尽力された杉本副会長と阪原理事のお二人が役員を辞任されましたので、三木会長よりその功績を称え感謝状と記念品が贈呈された。杉本さん、阪原さん大変ご苦労さまでした。続いて三木会長から新たに理事に就任された小

林栄三氏(33年卒)、長崎慶一氏(44年卒)、吉田勝氏(45年卒)、お三方の紹介があった。特に小林、長崎氏は東京在住の同窓生で、東京支部は小宮支部長のご逝去後支部活動が一時中断されていたので、この度小林氏が支部長に就任され長崎氏と共に支部活動を復活して頂く事に成了。小林新支部長の支部復活に向っての力強いご挨拶があった。

このあと福島副会長が議長に選出され議案審議に入る。先ず平成9年度の事業報告と収支決算書の報告。引続き平成10年度の事業計画案並に予算案について熱心に審議された。特に岡田広報委員長より、会報は本年より年1回の発刊になるが、内容の充実化を図る。又神山会計理事より、徹底して支出を抑え、単年度黒字化を強調、

— いずれも満場一致で承認された。

懇親パーティーの開宴に先立ち、栗田副会長から、この春、福島副会長は自営の旅行代理店を多年にわたり精勤され観光関係事業に功績があったとして運輸大臣賞を受賞された旨の披露があり、一同、同窓会の誇り、と賛辞を贈った。引続き乾杯の音頭で開宴した。今年は経費節減のためアトラクションをカットしたが、お互いに近況を語り合い楽しい一時を終え散会した。

(栗田 記)



▲ 同窓会代議員会



▲ 代議員風景



▲ 代議員会懇親会



▲ 懇親会風景

■ 平成9年度 同窓会決算報告

自 平成9年4月1日
至 平成10年3月31日

収入の部

科 目	予 算	決 算	摘要
前期繰越金	15,152,166	15,152,166	
会 費	2,800,000	2,805,000	561名×@5,000
代議員会費	300,000	300,000	60名×@5,000
総会会費	800,000	1,191,000	
会員協力金	3,000,000	3,071,921	563名
会報広告収入	730,000	690,000	
受取利息	52,000	42,612	
雑 収 入		20,000	
合 計	22,834,166	23,272,699	

支出の部

科 目	予 算	決 算	摘要
会議費	100,000	181,274	
代議員会議費	240,000	335,700	
総会会議費	800,000	1,237,267	
協力金	250,000	250,000	
人件費	480,000	498,800	
交通費	40,000	0	
消耗費	20,000	36,129	
通信費	3,300,000	3,862,591	
印刷費	100,000	0	
慶弔費	150,000	344,443	
雑費	50,000	34,144	
予備費	300,000	0	
新事業費			
会報発行費	2,100,000	1,922,394	
協力推進費	350,000	495,866	
事業運営費	250,000	128,112	
小計	8,530,000	9,326,720	
次期繰越金	14,304,166	13,945,979	
合計	22,834,166	23,272,699	

■ 平成10年度 同窓会予算(案)

収入の部

科 目	金 額	摘要
前期繰越金	13,945,979	
会 費	2,075,000	415名×@5,000
代議員会費	200,000	40名×@5,000
会員協力金	3,000,000	前年度実績
会報広告収入	600,000	30口×@20,000
受取利息	40,000	
合 計	19,860,979	

支出の部

科 目	金 額	摘要
会議費	100,000	
代議員会議費	200,000	
協力金	250,000	
人件費	500,000	
交通費	80,000	
通信費	1,500,000	
消耗費	120,000	
慶弔費	200,000	
雑費	50,000	
予備費	200,000	
計	3,200,000	
事業費		
会報発行費	1,100,000	
協力推進費	300,000	
事業運営費	100,000	
計	1,500,000	
小計	4,700,000	
次期繰越金	15,160,979	
合計	19,860,979	

『北陽同窓』東京支部再スタート！

= 汽笛一聲新橋で =

平成10年4月11日(土)13:00より新橋2丁目にある「松阪」(長崎慶一氏経営のお店)で東京支部は第13回の集いを行いました。世話人の小林さん、長崎さんが、東京周辺の同窓生150名に、「集い」の室内状を往復ハガキで郵送したところ、出席19名、欠席37名、返答なし59名、物故5名という状況で、ほぼ過半数に近い方の消息が確認されました。

「北陽高校同窓会東京支部の集い」には、本部から三木会長、神山会計がわざわざ出向かれて、「支部組織の強化、充実を是非に」というご要請に対し、参加者の賛同、協力を促すものでした。

これまでの東京支部の動向については、宇野博之さんが『北陽同窓』18号1996.12.10発行「小宮茂氏追悼文」の中で、次のように述べられておられます。

昭和60年から10年間もの間、故小宮茂さんは支部を懸命に支えられ、その間同窓会を8回、常に支部を引っ張って下さいました。…現在同窓の方が東京周辺に170名近く住まわれています。支部の会合は12回開催され、多い時で17~8名、10名前後の方が参加されます。メンバーはだいたい決まってきましたので、若い方々の参加が是非待たれます。

と、いうように、既に「支部」としての活動は昭和50年3月(高橋政五郎支部長)に始まり、23年の歴史を有しております。

さて、「集い」は小林さんの進行で始まりました。まず三木会長のあいさつと趣旨説明の後、参加者による自己紹介と近況など、食事をとりながら順に、スピーチを頂き、耳を傾けていました。

糸井さん(S16)、宇野さん(S16)、菊野さん、北窓さん(S17)、向所さん(S20)、西尾さん(S24)、小林さん(S33)、吉川さん(S34)、十時さん(S37)、岡部さん(S39)、実重さん(S40)、内海(S43)、長崎さん(S44)、平田さん(S56)

在校当時の模様から、戦時中の話、節活の話、当時の先生の話題、円形校舎、プレハブ校舎の話、そして近況へと、それぞれに上京してからのご苦労を彷彿とさせる内容に、一同感慨もひとしおでした。話の進展から組織作り、役員などが自然に決っていました。「集い」は酒の量とともに盛況になり、個々の話から、名刺の交換へ。佳境に達したところで、大阪からみえた足立さん(S42)に集合写真撮って戴き、記念となったところで散会。その後陽も高い故、8名は二次会の大衆酒場へ。更に三次会のカラオケスナックへと6名が繰り出しました。校歌なども飛び出す程のご機嫌ぶり。菊野さん、岡部さんは5/28東京クラブでゴルフを、という親睦にまで発展していました。

同窓会という縁の関係は初対面にもかかわらず、世代を超え、えも言えぬ温みを感じ取り、新橋を後にしました。

(支部事務局長 内 海 昭)

ご挨拶 —————

北陽高校同窓会 会長 三木 憲三

東京支部発展にご尽力された、小宮前支部長が他界され、3年ぶりに東京支部復活総会が開催されました。出席された同窓の皆さんには、さすがにバイタリティー溢れる方々ばかりで、心より嬉しく存すると共に感激を覚えました。席上、宇野・菊野両先輩方から、これから時代に即応した若い人事による運営が大切であることを力説せられ、小林栄三支部長を始め、別記役員による組織が誕生し、その手際の良さに敬意を表わすと共に、今後更なる親睦を深められ、東京支部のご発展を心より祈念するものであります。

ごあいさつ —————

東京支部長 小林 栄三

'96年9月ご逝去の小宮茂先輩を始め、諸先輩に支えられ、引継がれてまいりました我等が東京支部も、21世紀を目前に170余名の同窓を数える迄になりました。2000年には母校も創立75周年を迎えます。今こそ全員参加による組織強化と伝統の継承・英知と情報の交換、さらには北陽精神の高揚が大切と思われます。育んで頂きました。恩師諸先輩各位の〈知・徳・体〉に照らし、一層の進展を考えます。

かかる折、支部長を仰せつかり重責を痛感いたしておりますが、宇野博之・糸井弘至両顧問、菊野良平相談役と新役員の力強いご支援をバネに、支部発展に努めたく思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

終わりに去る4月11日の「支部の集い」には、ご多忙の中お集まり頂き、盛況のうちに再会を約し、散会できましたこと、また同18日母校での「総会」の席上で、当日の状況等報告のできましたこと、共にありがとうございました御礼申し上げ、支部長就任のご挨拶とさせていただきます。

支部幹事長 長崎 慶一

東京支部の幹事長という大役を任命され、有り難くお受けしました。

「初心」にかえって、誠実に努めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

支部会計 平田 克幸

先輩が労を惜しむことなく、支えてこられた支部という「財産」を継承する重責を与えられ、光榮に存じます。頑張りますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

「北陽同窓」東京支部 役員会

4/25 18:00～『北陽同窓』掲載用原稿内容打合せの為の会合を、支部局新橋「松阪」で持ちました。支部長と本部会計との連携で調整をはかりながら、おそらくまで話し合いました。結束が着実に深まっています。

(支部局)東京都港区新橋2-5-6大村ビルB1F ☎03-3504-0074

『北陽同窓』 東京支部 役員

支 部 長	小 林 荣 三	(S33年卒)	幹 事	北 窓 久 男	(S17年卒)
幹 事 長	長 崎 慶 一	(S44年卒)	幹 事	向 所 登 貴 郎	(S20年卒)
事 務 局 長	内 海 明	(S43年卒)	幹 事	西 尾 高 行	(S24年卒)
会 計	平 田 克 幸	(S56年卒)	事 業・幹 事	吉 川 興 一	(S34年卒)
顧 問	糸 井 弘 至	(S16年卒)	事 業 委 員 長 幹 事	十 時 良 雄	(S37年卒)
顧 問	宇 野 博 之	(S16年卒)	事 業・幹 事	岡 部 守 隆	(S39年卒)
相 談 役	菊 野 良 平	(S17年卒)	事 業・幹 事	実 重 優	(S40年卒)
幹 事	西 川 雅 敏	(S13年卒)			



後列 十時 西尾 吉川 岡部 実重 内海 神山 小林 足立 長崎
前列 宇野 糸井 三木 菊野 向所

平成10年母校進路状況

①四年生大学進学率 46.1%(昨年は 34.7%)

平成3年以降6年連続して伸び、過去最高であった昨年の記録をさらに更新。

②大学合格者延べ数 395名(昨年は 240名)

これも過去最高。推薦入試と一般入試の合格者の比率がほぼ1:1。

③国公立大学合格者数 4名

3年ぶりに合格者が出了。今年も大いに期待できそう。

■ 平成9年度 大学入試合格者数一覧

平成10年4月6日現在

大学名	推薦	一般	浪人	合計	昨年
国公立大学					
鹿児島大	1	1	0	2	0
神戸商船大	1	1	0	2	0
徳島大	1	1	0	2	0
大阪外国語大	1	1	0	2	0
下関市立		0	1	1	
私立大学					
愛知知泉大	1		1	2	0
愛知学泉大		0	1	1	
愛知工業大		0	1	1	
芦屋大		0	2	2	
英知大	1	6	2	9	10
追手門大	4	8	4	16	11
大阪学院大	14	8	3	25	29
大阪経済大	3	2	3	8	4
大阪経済法科大	2	3	5	7	
大阪経済法科大	4	1	5	10	
大阪芸術大	1	2	3	5	
大阪工業大	2	2	2	4	
大阪工業大	5	2	7	14	
大阪国際大	2	5	3	10	12
大阪産業大	2	13	2	17	14
大阪産業大	4	4	4	12	
大阪商業大	18	5	23	9	
大阪体育大	4		4	1	
大阪電気通信大	7	2	9	6	
大阪電気通信大	2		2	0	
大阪電気通信大		0	3		
岡山商科大	1	1	1	1	
岡山理科大	1	1	1	2	
金沢工業大	1		1	1	
川崎医療福祉大		0	1		
関西西大	2	4	6	2	
関西日大		0	3		
関西外国语大	2		2	2	
関西国际大	3		3	0	
関西福祉大	1		1	0	
吉備国際大	1	1	2	0	
九州公立大		0	1		
京都外国语大		0	1		
京都産業大	4	6	1	11	6
京都産業大	14		14	22	
京都精華大		0	1		
近畿国際大	7	4	1	12	16
近畿国際大	1	4	5	10	10
熊本工科大	1	1	1	2	
甲子園大	1	21	1	23	8
甲南大	1	1	2	1	
神戸学院大	8	1	9	13	
神戸芸術工科大	1	1	0	2	
神戸国際大	4		4	5	
高野山大	1		1	1	
国際武道大	1		1	0	
四天王寺国際仏教大	1	1	2	11	
順天堂大	1		1	0	

大学名	推薦	一般	浪人	合計	昨年
種智院大	2	1	3	2	
成安造形大	1		1	1	
聖和大		0	1	1	
堀高岡法科大	7	10	17	13	
宝塚造形芸術大	4		4	2	
第一経済大	5	2	7	4	
第一工業大	1		1	6	
大東文化大	1		1	1	
多摩美術大		1	1	1	
中京大	1		1	0	
帝塚山大	2	2	1	5	5
明天理大		0	1		
東洋大	24	3	1	28	10
東海大学園大		0	1		
同志社大		4	4	0	
東京造形大		0	1		
東北福祉大	1		1	2	
東福山大	1	2	3	1	
徳島文理大	1		1	3	
長崎総合科学大	1		1	0	
名古屋商科大		0	1		
奈良良産大	1		1	0	
奈良良産大	7	31	7	45	24
日本大	1		1	0	
花園大	2	1	3	1	
阪南大	1	5	5	11	12
鷹路獨協大	5	3	8	7	
兵庫工業大	2	1	3	1	
福岡工業大	1		1	0	
福島山大	2	3	5	0	
佛北陸大	2	1	3	0	
北海学園大	3		3	2	
北海道医療大	1		1	0	
北海道情報大	4		4	1	
松阪大		0	3		
松山大	1		1	0	
南大	2	2	2	0	
武藏工大		0	1		
武藏野美術大		1	1	0	
明海大	1		1	1	
桃山学院大	1	1	2	4	5
四日市大		0	1		
立命館大		2	2	1	
立命館大		1	1	1	
龍谷大	1		1	0	
短期大学	25	24	6	55	80
昨年実績	64	8	8		
四年制大学	199	196	73	468	376
昨年実績	150	90	136		

大学名	推薦	一般	浪人	合計	昨年
池之坊短大				0	1
大阪工大			2	2	5
大阪産業大	1	1	1	2	0
大阪電通大	3	1	1	5	15
大阪電大			0	3	
大阪短大	2	1	3	11	
大谷短大			0	1	
関西外国语大	2		2	4	
関西芸術短大		3	1	4	7
京都外国语大	1	1	2	0	
京都経済短大	1		1	2	
近畿農業大	2	1	3	5	
神戸文化短大	1		1	0	
港湾職業能力短大	2		2	0	
嵯峨美術短大	1	1	2	1	
産業技術短大	5		5	9	
道貿文教短大	1		1	0	
成安造形短大	1		1	1	
徳島文理短大	1		1	0	
西山学園短大			0	2	
東邦学園短大			0	1	
徳島工大			1	0	
徳島文理短大	1		1	0	
中日本自動車短大			0	1	
浪速谷短大	4	5	2	11	5
龍谷短大	1		1	0	
短期大学	25	24	6	55	80
昨年実績	64	8	8		

今年度卒業生 562名

大学	259名
短大	31名
専門	70名
就職	104名
予備校、その他	98名

平成高校・クラブニュース (1) 名簿

(説明会・秋季大会決勝戦・春季大会決勝戦)

硬式野球部

新チームの特徴

「全員野球」という言葉がよく使われます。個性を活かしながら、チームとして一つのことを理解して試合で実践する。そんなチームになりつつあります。3年生を中心に、2年生、1年生と個性豊かな選手がそろいました。

今年は記念大会ということで、大阪から2チーム出場出来ます。ご期待に添えるよう全力で頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

軟式野球部

去年の全国大会出場で、今年のチームはスタートが例年に比べ1ヶ月あまり遅れましたが、平成九年度秋季大会優勝、近畿大会優勝とスタートの遅れをカバーし頑張ってくれました。今年に入り、攻守にバランスがとれ、部員一人一人のパワーも付いてきました。今年も全国大会出場を目指し頑張りますので、宜しくご声援の程お願いいたします。

戦績 54勝 5敗



バスケットボール部

今年のチームは、身長的にはあまり恵まれていませんでしたが、チームワークと粘り強いディフェンスで大阪ベスト8に進出しました。残念ながら近畿大会へは、得失点差で出場を逃しましたが、チーム全体が目指したバスケットへの姿勢は、観戦した人や後輩達に感動を与え、身長が低くても「やれば出来るんだ!」と教えてくれました。今後もその気持ちを大切に頑張りますので、応援をよろしくお願ひします。ありがとうございます、みんな!



母校・クラブニュース(2)

バレーボール部

顧問 横田道正



我がバレーボール部は、岸和田産業高校において九人制バレーボール部を優勝に導いた日体大出身の本郷先生が赴任された昭和28年、加盟登録され発足する。同じ年に赴任された安富先生との協力により一部から六部までの部制の制定の中で最下位からのスタートであった。O B及び天理大出身のコーチの協力もあって一部に昇格、昭和37年には第15回近畿大会に初出場がかない、実力の伴った伝統を築きあげていった。

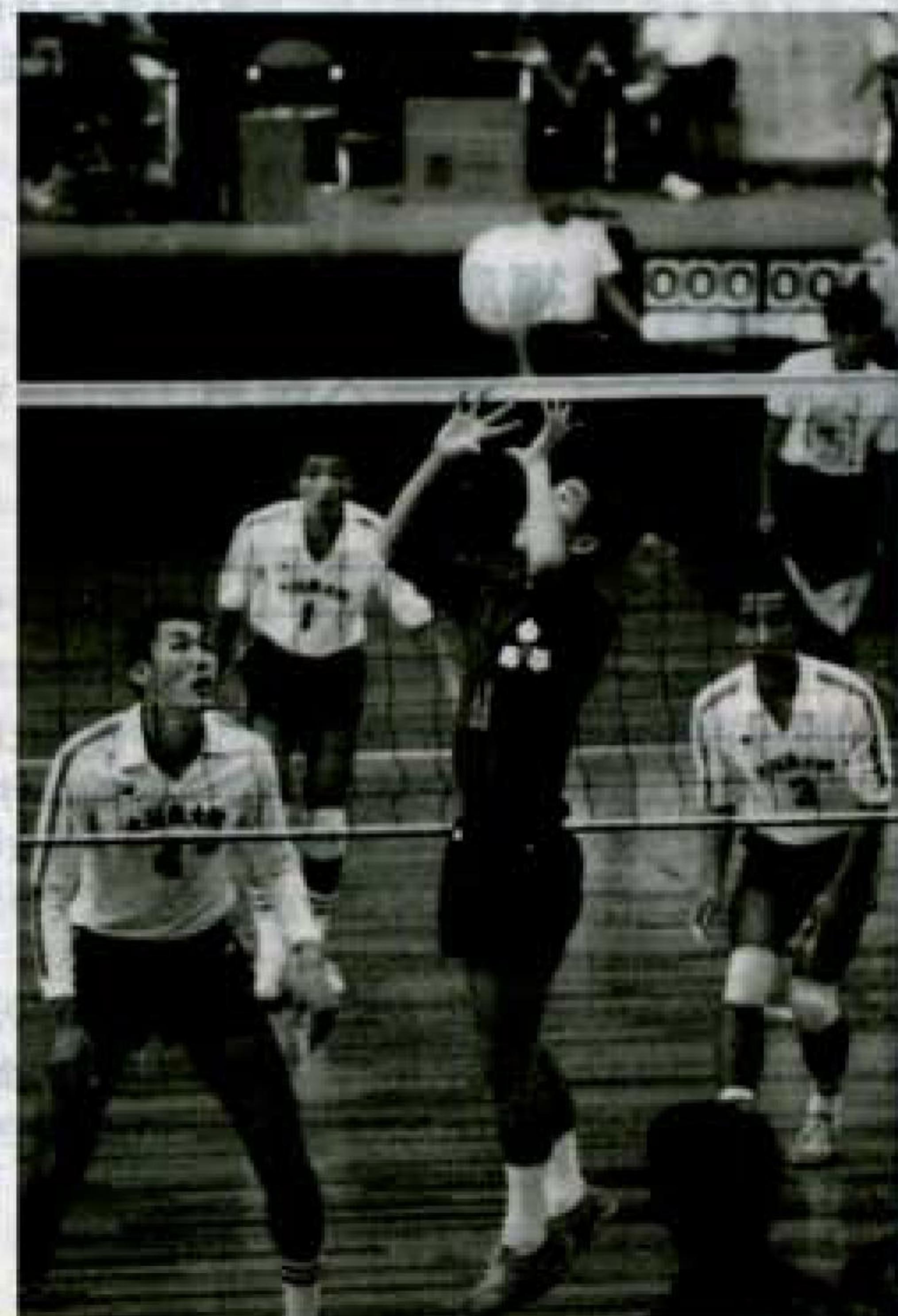
そして昭和39年、今までで最強のチームが出来上がり、第17回近畿大会において4回戦までいったが、滋賀代表大津高校に惜敗する。また翌年の昭和40年、私学大会決勝戦において、昭和38年より台頭して来た上野先生率いる商大附属高校と対戦、激戦を演じ本校 0 (19-21 / 13-15) 2 商大附という結果で準優勝を果たしている。この年には本郷先生はクラブから身を引かれており、安富先生の偉業であった。

その後、安富先生の体調が思わしくなく、十分な面倒がみられなくなり、昭和42、43年を境に低迷時代が続いたが、昭和45年に赴任した顧問の横田により立て直しが計られ、昭和54年に赴任された亀田先生も顧問となって協力していただき伝統も復活。

一部の上位に位置され、昭和61年より昭和63年まで3年連続、春季大会と秋季大会合わせて6度の一部ゾーン大会で優勝をなし遂げ、平成元年には念願の北地区優勝を達成し、中央大会において昭和48年より台頭して来た徳田先生率いる清風高校に撃破されたが初の3位入賞をなし遂げた。

平成10年現在までに、近畿大会出場を10度経験し、私学大会においては三年連続三位入賞を果たしたが、徳田先生率いる清風高校と上野先生率いる商大附属高校の全国大会(春高バレー)、インターハイ出場チームの二強に常に手を阻まれた。唯一、一度だけ商業大会で清風高校を破り準優勝という戦績をあげている。

さて、次の目標である全国大会出場を願って、日夜練習に励んでおりますが、平成10年現在大阪府の高校バレー界は、清風・商大附属・履正社という三校が最強チームでその後に上宮・近大附・大阪学院・星翔と続き、常に苦戦を強いられています。しかし、今後とも大いに飛躍したい所存であります。






山崎勝巳さんの ライオンズクラブに おけるご活躍について

(昭和18年卒)

茨木市在住の山崎勝巳さんは、母校北陽商業から同志社大学へ進学され、その後地元の中学校の教員を振り出しに、茨木市議会議員として長年に亘り茨木市発展のためご尽力されて来ました。

現在は地元で山崎産業㈱代表取締役社長としてビル経営事業に活躍されていますが、昭和36年に「ライオンズクラブ」に入会され、以来同クラブの目標である地域社会に対する奉仕団体の一員として、また茨木ＬＣの会長として活発な活動を続けて来られ、今までにその貢献について国際協会長等より7度に及ぶ輝かしい受賞歴があります。

この数々の実績により、「98年度に「ライオンズクラブ国際協会近畿地区ガバナー」として選出されることになり、その栄誉を称えるため1月25日(日)三井アーバンホテルにおいて、昭和18年卒の「北陽なかよし会」のメンバーを中心に後輩の特別参加者を含め24名で祝賀会が開催されました。小規模の会ではありましたが、山崎さんの今後ますますのご発展とご活躍を願い祝賀会は盛会に終始しました。

(寺田 記)



「恩師」

梅 村 修
(昭和55年卒)

私は今までの人生のなかで数多くの恩師にお世話になった。そのなかでも最も思い出深く尊敬に値するのが北陽高校時代に二、三年生を担任していただいた金澤洋先生である。

先生は当時、生徒指導担当で規則に厳しく校内では、どちらかというと「こわい」存在であったようだが、生徒からは「金さん」という愛称で親しまれていた。

先生は毎朝一番に出勤され、昇降口で我々生徒が登校するのを出迎えてくれた。私は照れ屋でなかなか声に出ての挨拶はできなかったが、一礼するとにっこり笑って応えてくださった。それが私の高校生活の一日のスタートの光景として今でも胸に焼きついている。そんな日々の生活を通して、「こわい先生」という表面的なイメージが払拭され、先生の内面的な優しさを知ることとなった。

先生は豊かな人生経験から幅広い知識を持たれていた。授業や学級活動では本来の内容よりむしろ先生の余談から学ぶことの方が多いように思う。北海道に修学旅行に行った時もガイドや添乗員顔負けの解説?があった。また先生はユーモア溢れた授業で私達を楽しませてくれた。ネクタイのゆがみを生徒から指摘されると、「これが俺の趣味や。」とよく冗談をおっしゃっていた。

卒業を控え私達は「進路」という壁にぶつかった。私はかつてからの夢である教職に就きたいと志望した時、当時の私の成績から親までが反対し、まじめに取り合ってくれなかつたが、「梅村君には向いているかも知れない。彼ならできる」と親にも言ってください、親身になって進路指導をしてくださった。

あれから約20年、私は現在京都府下の公立小学校に勤めている。またささやかながら家庭も築き、楽しいことはばかりではないが充実した人生を歩んでいる。随分遠回りもしたが教職という夢をあきらめずに実現できたのは恩師である金澤先生を始め諸先生方のご指導やけがましおかげと感謝している。そして今教師としての自分を省みた時、金澤先生の教師としての姿を自分の中に見つけることがある。



福島嘉雄氏 “運輸大臣賞” を受賞

(昭和26年卒)

同窓会副会長の福島氏(昭和26年卒)は、昭和33年3月旅行代理店業として北港ツーリストを設立し、現在まで約40年間経過しますが、競争の激しい旅行業界の中で堅実な経営に努力され着々と業績を延ばし、社団法人全国旅行業協会大阪府支部の専務理事として業界の指導的立場にあり活躍されております。

この度、「多年にわたり観光関係事業に勧励され功績があった」と、運輸大臣賞が授与されることになり、平成10年4月17日(金)、パレスホテル(東京都)にて開催された表彰式に夫人同伴で出席され、受賞されて参りました。

「おめでとうございます」今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

(岡田記)



縁は異なるもの 味なもの……

佐藤 茂
(昭和32年卒)

なぜか、60年近く人間やっておりますと、人との間、出逢が、偶然からの出発とは云え予期せぬ方向へと展開して行く事が有るよう

です。
私、趣味でアンティークグラスをコレクション致しております。ガラスは陶器と異なり素人でも美しい色と形から、おおよそ製作年代も判断がつきやすく、骨董価値も、さりながら、実用としても用事が出来ます。そして友人と親交をあたためるカンパイの良き演出もしてくれます。ギャマン・ビードロと聞いただけで、血沸、肉躍る、のめりこんでいます。

芦屋のデパートから、創業記念のイベントとして「コレクションをショーウィンドに」と展覧の依頼があり、多数の衆人の目にさらすのは嬉しさ半分、恥かしさ半分の心境に成りながらも、「旅のエトランゼ」と題して、タイタニック船から引き上げたような古びたトランクにディスプレイしました。これは珍しいとの事で、読売新聞が、大きく写真付の記事で発表。あい前後して、芦屋にお住まいの方で、ビールのジョッキを蒐集なされておられる方が展示されました。主催者側、小島淳作氏の取り計らいで、ご当人とお逢する事に成り、山手のご自宅にうかがう事に成りました。

詩人であり、イベント会社を経営されておられる喜多内十三造氏は、どこの馬の骨とも解らぬ小生を心良く迎えて、沢山の著書出版迄のエピソードを、楽しく話して下さいました。ご馳走になったビールの醉と、超美人の奥様の手料理で、いささか酩酊気味でその日は帰宅致しました。ほどなくドイツのミュンヘンで、日本伝統文化展が、開催されるので、そのポスター・デザインの話が有り郷土玩具、約3,000点を撮影するチャンスにめぐり合いました。中には初めて目にする物もあり、日本の忘れられた心にふれる貴重な体感を致しました。ポスターはドイツ流、シンプルなノングラフィックで完成。大満足の未知との遭遇でした。

又この方の長男が日本で最大のエージェント電通で仕事をされている事から、飲料水のメーカー・ボッカの新発売のパッケージデザインを、小生が勤めている、専門の学生にヤングセンスで課題としては、に発展し、ビールから出た話は、泡となって消えずに、トントン拍子に決定。今教室で、キャラクター・デザインから、パッケージ、ポスター迄製作するはこびと成り、受講生、40人がそれぞれ自分の感性で創作造型に余念が有りません。GOOD！作品には、メーカーから賞のご褒美を提供との決定。

「絵に画いた餅」の絵空ごと、では無く、正に「产学共同」のタイアップ実学の進行中です。一般に公開する3月の卒業制作展覧会が、今から楽しみです。

さらに氏の長女が、ドイツ人のドクターと国際結婚で、ミュンヘン在住との事。8月にはドイツ郊外を廻ってアンティークボヘミヤングラスを集めに行く計画中。会話は、大阪語しかだめだが、そこは浪速っ子、ボーランゲージで、GO！ GO！

芦屋芸術学院 教授



年内引退を 表明した格闘家

前田日明
(昭和52年卒)

プロフィール

高二の時、空手道場に通い始める。'77年プロレスラーをめざし新日本プロレス入団。'84年「フェアプレーに徹する」が信条のUWFを結成するが一年半後に倒産。新日本プロレスに戻るが、試合中のキックをめぐるトラブルから'88年3月に退団し、同年5月ショーリングスを設立して、UWFを旗揚げ。若者を中心に熱狂的な人気を呼び、大会場での興業を次々と成功させるが、フロントとのトラブルから空中分解する。'94年プロレス界に別れを告げ空手、サンボ、レスリングなどの多様なエッセンスを取り入れた総合格闘技団体「リングス」を設立している。

プロレスラーは強くて、小さいときからのあこがれであった。だけど、人に言るのは照れ臭かった。「あんなの、単なるショーじゃない」。そう言われるのがオチだったからだ。

「平成の格闘王」前田日明は、アントニオ猪木、ジャイアント馬場のビッグネームが幅をきかせるプロレス界に、敢然と現れた。そして「反則や場外乱闘をしない」というアンチテーゼを突きつけた。僕はそうだ、そうだ、と拍手を送っていた。

設立した新生UWFは、関節技主体の地味な攻防ながら、理想を追い求める真剣な息づかいがあった。うさん臭くみられがちなプロレスの世界で、前田はもがいているように見えた。熱狂するファンもまた、新しい格闘技を求めてがいでいたのだと思う。僕は大きさに言えば、同じ船に乗っている気分だった。

前田は、今年いっぱい引退する。「総合格闘技」を目指す「リングス」を設立して理想に近づいたが、体は故障だらけだった。衰えを繕いながらスポットライトを浴びるより、後進を育て、リングスを発展させる道を選んだ。その潔さも、かっこいい。

(山平慎一郎)

'98年1月12日朝日新聞掲載「この人に、会ってみたかった」記事の一部を転載させていただきました。

登山家・小西浩文

(昭和55年卒)

97年、3座の8000メートル峰に無酸素で挑戦。
そして、98年、
彼は、8000メートル峰4座に挑む。

「山に登りはじめた高校生のころ、ヒマラヤを意識したそのときから、これだけは決めていた」

そしてそれを20才で成し遂げた。中部山岳会・中日新聞が主催したシシャパンマ(8012m)を無酸素(酸素ボンベなし)で登頂した。多分この成功は彼にとっては世界最年少の記録でもあっただろう。中日新聞は紙面一面を使って報じた。この2年前に北陽高校を卒業した小西浩文がその人である。

何故に無酸素か、について彼は述べている。

「低酸素こそが高所登山の最大の問題であり、乗り越えるべき障壁なのだから。酸素を吸うことは、その障壁を取り去ってしまう。それでは8000mの山に登る意味はなくなる」と。この登山の成功は、従来の登山方法とは大いに異なるものであった。重装備、多人数、慎重に行動する重厚長大が当時の基本であった。それを軽装備・少人数で一気呵成に登頂するものへの変化でもあった。ただこの方法は低酸素に長時間さらされることから、脳障害をきたす心配がある。

いずれにしろ、高校卒業後わずか2年で世界のトップ・クライマーに名を連ねたことになった。その間には血の滲むような日々があったことだろう。ある夏山合宿では水のみで一週間過ごす姿も目にした。

「97年、8000mを越える三山の登頂をめざした。5月ダウラギリI峰(8167m)、7月ガッシャブルムI峰(8068m)、10月マナスル(8163m)。成功したのは前2山であった。その時までに既に6山、無酸素で登頂していた。

ダウラギリI峰の登山は、相当に厳しいものであったようだ。例年よりも雪深く、朝4時45分にキャンプを出発。頂上を極めたのは午後7時10分。既に陽もなく、残照のなかでの成功であった。パートナーと暗闇のなか命綱で相互を確保しながら慎重に下山し、キャンプに到着したのは翌日の午前2時30分であった。じつに22時間にもおよぶ行動であった。その間、何を考え、思ったのだろう。

僅か1年で、何故に8000mを越える山に無酸素で挑戦したのだろうか。越高山では、わずかなミスでも即死に直結している。少人数・短時間・軽装備、しかも酸素ボンベも使用しない低酸素ともなれば、正常な判断も即時に下すのは大変なことであろう。8000m越の高山に無酸素で挑戦することについて、彼は次のように述べている。

「そのようによく質問される。私にとって、終始、自分の居るべき場所にいるという実感があった。私の魂がそれを求めているといえばよいのか。今もマナスルに登頂出来なかったことは悔しい。でも、やっぱり登っている時が、私の一番輝いているときだと思う」と、「97年に回顧している。

「6000mよりも7000m、さらに8000m、標高が高くなればなる程、世界が変わる。それこそが山の最大の魅力だろうと思う」とも述べ



ている。

「クライマーにとって、生き延びること。これが基本であり、全てである。体力・技術・精神力が超一流というだけでは、8000m越の世界の14峰を登頂し、生還することはできない」とも小西はいう。それは「運」だけではなく、「神に選ばれた者だけが到達できる世界だ」とも加えている。

「自分は死がない」という絶対の自信と、「死んだら自分はしゃせんそれまでだった……」という悟りめいた死へのスタンス。そして無酸素、8000m越えの強烈な思い込み。それを実行するための卓越した精神力。これこそが小西の持ち味だろう。

「98年もできれば4峰の8000m越の山に登りたい」とも言っている。

8000m超の14峰に無酸素で登頂したのは、メスナーとロレタンだけである。メスナーは現在無酸素の故だろうか、言語障害をかかえているとも伝えられている。その彼は、「記録を立てることを誇りには思わない。誇れる唯一のことは生き延びたということだ」と述べている。小西氏は現在、日本山岳会の海外担当理事である。

100. 100. クライマーの世界
(岩田 記)
西洋 雪を歩く野鳥

北陽 同窓会ゴルフコンペのご案内

平成8年度に同窓会員の交流を深めるためゴルフコンペを計画・実施したところ大変好評で、本年度は第3回目を迎えることになりました。

毎回、学園並びに教職員の方々の参加と、ゲストとして阪神タイガースのO B 室山皓之助さん、藤井栄治さん、中田良弘さん、南海ホークスO B の樋口正蔵さん等に特別参加いただき北陽同窓会のゴルフ会の盛り上げに一役買っていただいております。

今回も是非同窓、知人、ご家族の皆さん方をお誘い合わせの上奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

◆第3回ゴルフコンペ

日 時 平成10年10月5日(月)雨天決行
 場 所 ライオンズCC(兵庫県)
 会 費 7,000円
 ※プレー費 16,000円(昼食付)各自払い

参 加 人 数 80名
 締 切 9月18日(金)厳守
 ※但し定員になり次第締め切ります。
 組合せは別途ご案内します

◆◆◆◆◆ お問い合わせ・申し込み先 ◆◆◆◆◆

(ハガキまたはTEL・FAXにて受付)

〒533-0006 大阪市東淀川区上新庄1-3-26
 北陽高等学校同窓会事務局 TEL 06-328-5964
 FAX 06-327-2747

〒564-0026 吹田市高浜町4-7
 株寺田美研 代表 寺田賢作
 TEL 06-381-2401
 FAX 06-319-3843



第1回北陽同窓会ゴルフコンペ
(平成8年8月 愛宕ヶ原G.C.)



第2回北陽同窓会ゴルフコンペ
(平成9年8月 ライオンズCC)

平成10年度 北陽高校同窓会理事・監事名簿

事務局により ご協力のお礼

協力金推進委員会

平素は阿波倉発展にご協力賜りましてありがとうございます。

前回発行しました会報に掲載させていただきました以降にご協力いただきました方々の氏名を掲載いたします。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

郵便局者

弘次晃治悟雄也祐規保熙己二十夫雄生雄仁司信貢茂雄弘造一
真純 寛 則博明喜 勝雅嘉秀邦智達一持義大 貞稔幸修
本山山田宮村戸川菜野口口崎下下下中本木木木脇城口田田田倉
森森森安安康谷柳柳矢山山山山山山山山山山山山山山山山
之仁勝致充一一三伯美繁祥幸正豐讓夫三雄信治人男生之雄典一郎功明和則
博 宰清省省浩隆 永昌 鶴憲富宏哲正英地康孝可淳松 正俊幸
家原野井岡口田田田元井岡田原村村本木口原久泉野原水野脇月高上田部田
之古鉢星昭曜曜前前牧松松松松松三溝密光南三三宮宮脇宗村村物森
昌行人郎修一平勇光男悟郎男輔市治博一洋明弘雄晋昭男詞故樹夫義雄男夫
祐高勝達 修亮 之一 保芳俊信光長容光信幸一 道義智昌尚和重照治直
木尾岡岡川川田田佛村村本見網沢田田柏木谷川中野 田田口川川場川
梨西西西西西西西西西二野野野延野法橋長長烟烟林原原樺藤富札古士
一七雄雄勇行治美則義晉博作一之郎勝治義二雄男一巖一一治治雄夫男允泰
二庄貴隆 伸五正安喜 大章隆太 幸猛繁利正昭 仁一豊 良正一泰一
本本木口下 中中中川本置村村原 本田井山井藤尾尾上野野村村谷山爾
杉杉杉高田竹巽田田谷谷玉田田千辻德豐鳥鳥土内中中仲中中中中中水
典樹一良夫治助夫三一彦雄富勝雄尚剛顯男隆清男信博德三平修志明寛行男
孝直洋賢秋 精武昇啓敏恒光 徹正 忠 正政貴広芳章 武末敏好幸
戸船村山田柄 古瀬谷玉寺林林林郷井下本木木山崎津 田藤甲島利上中
木貴木桐倉栗良精小小兒小小小小西酒坂阪佐佐澤埴埴芝榮進上城水須杉
之次薰人芳均勝訓三通造一布也郎一道彦夫久治雄達茂仁平光秀美一徹三仁
博作 正通 且健良賢耕彰正治正正忠義武新信信 章良溫忠克慶 公伸
野浦森野藏越竹西野森山田田田本上田野山 藤藤元上西野上間 川川田寺
字姥梅浦江大大大大大岡岡岡尾奥小蔭桂加加門川川菊岸岸北北北木木
也七男永司美義勇史之大司雄郎吉治之輔茂平男男樹治弘也三健潤男和次昭
仲十敏安隆嘉將 博博一隆秀主友幸隆仲 孝信恒裕悅 貴昭 三清種
井舌井年川内川島島川田田見澤沢井附東上上田村本崎浦川田村田田田山海
赤味新有飯井井生生池池池伊伊井石居伊井井今今井岩上上上上上内内内内

協賛廣告者

大森 良通 寺田 駿作 福島 遼輔 宮永 康之 阪急交通社教育旅行センター
阪原 弘 中山 浩介 三木 嘉三 元城 明弘 鶴川駒文堂

《續集後記》

同窓会活動の内容はじめ会員相互の動向並びに母校の近況について唯一の情報誌として、平成8年度から「北陽同窓」を年2回発行することにより好評をいただいて参りましたが、年2回の発行は費用として特に通帳費が嵩み、同窓会予算内では晦い切れず残念ながら本年度より年1回の発行に変更させていただくことになりました。

内容については、同窓会会員相互の交流の輪と母校との輪が一層深まるよう広報委員一同内容の充実化に努力致しますので、何卒皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。 聖地

(庄敬委員會 謹 啟) 告白

不 明 者 調 查 ご 協 力 の お 願 い

■同封の不明者一覧には

- (1) 駐先不明、移転先不明等のため戻った方(町名、隣地変更の履りを書む)
(2) 前回発行した名簿(平成7年版)で住所不明の方が記載されております。

■ 事務局では、一人でも多くの同窓生の正しい住所を掲載するために、住所調べを行なっております。

しかしながら、現在も住所のつかめていない方がまだまだおられます。

一階の中に、ご存じの初人（回転生）やご高齢の方がおられましたら、内

「物の半端」（之傳也）始哉不誕生，亦即啟發好處的引領者是矣。而明者運轉八卦生「丁酉現生所生者即壬戌下生」，「生所不明者運轉八

明治連続「195年」にて城主所を終らざる者。・桂川平野明治連続、桂川平野安藤連合と合併して桂川平野安藤山田郡新潟市に移転する。

を直接TAPへ送信する機能を実装。専用画面で操作が可能になります。

中止四回会、カラコ会、カラコの日本会議の各団体動植物生体内の固形生

また同頃会、グラス会、プランのH日会等の名簿や勤務元内の同級生や友人等の名簿

大歓迎です。お問い合わせは、上記の各会員のHPをご覧ください。

なにとそこ歯力のほど、よろしくお願いいたします。
今度はお詫びの言葉を

会員番号は必ずご記入下さい。
郵便局にて発送料金を割り引くために、ご記入いただけますと幸甚です。

北明有的做按同昭合直政目

TEL (06) 328-5964
FAX (06) 327-2747

制御盤配電盤制作・計装電気工事

共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 喜 祐 (昭和17年卒)
同窓会参与

本 社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話大阪(481)8807~0番(代表)・(489)3041番
東京営業所 及 工 場 〒177-0033 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話東京(3904)1521番



(工事製作部門)
総合電気工事・設計、施工
自動制御盤・製作

(代理店・販売部門)
ヤンマー・ディーゼル 基幹特約店
愛知電機アイチトランス特約店

—— 心と技術で明日を築く ——

栄興電機工業株式会社

代表取締役社長 三木憲三 (昭和23年卒)
北陽高校同窓会会长

本 社／〒661-0971 尼崎市瓦宮1丁目9-15 電話(06)491-5301(代) FAX(06)493-1051
支店・工場／〒566-0043 摂津市一津屋3丁目3-14 電話(06)349-2831(代) FAX(06)349-0765
営業所／西宮・宝塚

大森モータープール

同窓会理事 大森良通 (昭和26年卒)

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路4-13-16
TEL(06) 322-0001 · 0008

塚口タイヤ株式会社

(ブリヂストンタイヤショップ)

専務取締役 松田 裕 晴 (昭和53年卒)

本社 〒661-0011 尼崎市東塚口町2-4-54
TEL(06)428-2018(代) FAX(06)428-2023

心斎橋

日本料理 四季

い・ち・り・ん

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋1-4-12

■年中無休 ■予約電話/06(243)5115

代表 中山 善允 (昭和59年卒)



— 明日を見つめ ベストを追求する —

— 橋出版株式会社

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-30-6
TEL:(03)3392-6021(代) FAX:(03)3332-7299

旅のことならなんでも

北港観光バス北案内所 北港ソーリスト

代表者 福島嘉雄 (昭和26年卒)(北陽高校同窓会副会長)

〒533-0022 大阪市東淀川区菅原6丁目11-3
TEL(06)329-1517

尼崎工業株式会社

代表取締役
同窓会理事 神山興三 (昭和33年卒)

本社 〒676-0074 兵庫県高砂市梅井3-25-23
TEL (0794)48-6616(代) 48-6617
FAX (0794)47-2072

塗装工事請負※看板製作一式
見積無料

大阪府知事許可(般-55)第56974号
近畿郵政局・吹田市指定業者

株式会社 寺田美研

代表
同窓会理事 寺田 賢作 (昭和42年卒)

〒564-0026 吹田市高浜町4-7 TEL(06)381-2401 FAX(06)319-3843

北陽高校の益々のご発展を
ご祈念申し上げます

法 柏 信 明

同窓会参与(昭和22年卒)

〒651-2227 神戸市西区桜が丘西町5丁目7-12
TEL(078) 9 9 5 - 2 2 2 8

ヤンマーディーゼル(株) OB
北陽高校同窓会副会長

栗 田 文 吉

(昭和23年卒)

〒567-0064 茨木市上野町 8-11
TEL(0726) 4 1 - 5 7 5 6

株式会社 村尾工務店

代表取締役
同窓会参与

村 尾 清 道

(昭和23年度)

〒560-0884 豊中市岡町北 2-2-24
TEL(06) 8 5 2 - 3 8 5 4

武岡製パン 株式会社

代表取締役
同窓会参与

武 岡 昭 夫

(昭和23年卒)

〒560-0031 豊中市螢池北町 1-12-5
TEL(06) 8 5 7 - 5 9 4 0

北陽高校ボクシング部OB会

幹事長・同窓会理事

小 林 光 富

(昭和35年卒)

〒662-0038 西宮市南郷町13-22
TEL(0798) 7 2 - 7 6 2 8

吹田市議会議員
北陽高校同窓会理事

吉 田 勝

(昭和45年卒)

〒565-0862 吹田市津雲台2-1-C15-101
TEL(06) 8 3 2 - 0 6 6 0

大阪の酒 **水都乃匠**

—発売元—

こよなく大阪の町とお酒を愛する七人の匠

代表 村尾 善伸

酒匠 MURAO

〒530-0015 大阪市北区中崎西1-10-10
TEL・FAX(06) 371-8272

和菓子製造販売

松竹堂

〒565-0821 吹田市山田東2丁目37-14
TEL(06) 877-1125
大阪市・吹田市・摂津市・指定業者

- フィルムレンタル
邦画、洋画、独立プロ、等35m/m版・16m/m版在庫豊富!!
- クセノンピンスポットライト
スクリーン、暗幕装置
スライド映写機等のレンタル

ご一報次第係員がお伺いします。

淡路東宝

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路4丁目7-7
TEL (06) 322-2602
FAX (06) 325-6811

商品撮影・ポートレート・建築写真
各種発表会・記念行事の撮影

サカイ
株式会社左海フォトプロダクション

本社・スタジオ

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-10-5
(地下鉄・御堂筋線西田辺駅北50m)
TEL 大阪 (06) 621-0085(代) FAX 621-0626

コンピューター画像による・古い傷んだ写真の
修整・復元・写真の合成・電線等の不要物の消去

- 各学校美術科設備品及び教材
- デザイン材料・額縁
- 和・洋絵画材料

有限会社渡辺画材教育用品社

事務所 〒564-0014 吹田市吹東町32-1
TEL(06) 383-1404
FAX(06) 383-1418
支店 大阪成蹊女子短大美術ショップ
TEL(06) 340-1479

各種贈答記念
アイデアと企画の店

安田商会

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-6-25
TEL(06) 303-2070 FAX(06) 307-0260